

社会資本整備総合交付金 目標達成型パッケージの事後評価提出様式

令和3年8月26日

対象事業	美里町における歩行者等の安全性を確保する社会資本整備(防災・安全交付金)	対象地域	美里町(宮城県)		
対象事業の期間	平成27年度～平成29年度(3年間)	対象事業No.	8		
対象事業の目的	美里町の円滑な交通と安全で住みよい住環境空間創造するための社会資本整備を行う。				
対象事業の効果	小学校や小牛田駅に通う通勤・通学者が多く利用している町道整備を行い道路の安全性と利便性の向上を図る。				B/C
対象事業の成果目標(アウトカム指標)	通勤・通学者の安全歩行空間整備率				
アウトカム指標の定義及び算定式	美里町の安全空間確保計画延長に対する確保済み延長 安全空間の確保率 = (整備した延長 / 美里町安全空間計画延長 × 100)	アウトカム指標の現況値及び目標値	当初現況値 27.3%	中間目標値 42.0%	長期目標値 63.6%

事後評価




1. 要素事業の進捗状況

事業費	H27	70 百万円
	H28	30 百万円
	H29	45 百万円
① 進捗状況		
整備した延長 美里町歩行空間計画延長 $2,306 \text{ m} \div 2,306 \text{ m} \times 100 = 100 \%$		
② 進捗状況に関する要因分析		
本町の総合計画(H19.4～H28.3)に基づき、実施計画の中で町全体の事業バランスを考慮し、本事業への財政負担可能額の調整及び工事施工に伴う地域住民への周知、調整等に要する期間の検討を行い実施可能施工量を考慮したうえで、総合的に判断して実施したところ現在の進捗状況となった。		

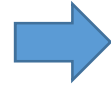
2. 事業効果の発現状況

① 成果目標に関連する要素事業の効果の発現状況	整備を行った箇所(L=2,306m)については、整備前にはなかった歩行空間が確保され、車両と歩行者及び自転車のすれ違い時の通行の安全性が向上し、交通通事故防止に寄与している。			B/C
② 成果目標の達成状況	q	63.6%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
	長期実績値(H26末実績)	100.0%		
③ 成果目標以外の要素事業の効果の発現状況				

3. 特記事項

<p>整備前</p> <p>山の神変電所線外12路線</p> 	<p>整備後</p> 
<p>整備前</p> <p>山の神変電所線外12路線</p> 	<p>整備後</p> 

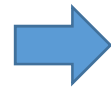
整備前
叔廼前北原線
外6路線



整備後



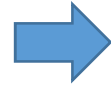
整備前
叔廼前北原線
外6路線



整備後



整備前
西原線
外13路線



整備後

